



平成28年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トランザクション
コード番号 7818 URL <http://www.trans-action.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 諭
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北山 善也

TEL 03-6861-5577

四半期報告書提出予定日 平成28年7月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第3四半期の連結業績(平成27年9月1日～平成28年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第3四半期	9,001	16.2	803	59.3	800	60.8	534	73.3
27年8月期第3四半期	7,747	0.7	504	△8.5	497	△7.0	308	△7.2

(注) 包括利益 28年8月期第3四半期 488百万円 (28.7%) 27年8月期第3四半期 379百万円 (11.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第3四半期	42.28	42.27
27年8月期第3四半期	24.55	24.46

(注) 当社は、平成27年8月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年8月期第3四半期	5,797	3,374	58.2
27年8月期	5,293	2,984	56.4

(参考) 自己資本 28年8月期第3四半期 3,374百万円 27年8月期 2,984百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	0.00	—	9.00	9.00
28年8月期	—	0.00	—	—	—
28年8月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2. 平成27年8月期期末配当金の内訳 普通配当 7円50銭 東証一部指定記念配当 1円50銭

3. 平成28年8月期の連結業績予想(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	11.2	850	58.7	843	60.3	571	152.2	45.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年8月期3Q	12,964,000 株	27年8月期	12,961,600 株
② 期末自己株式数	28年8月期3Q	297,690 株	27年8月期	339,190 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年8月期3Q	12,644,700 株	27年8月期3Q	12,570,432 株

(注) 当社は、平成27年8月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が継続しておりますが、国内の消費活動は横ばいの状況で推移しております。企業活動につきましても、為替の急速な円高進行の影響による慎重な姿勢が見られ、依然として先行きに不透明感を残す状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、「成長戦略・効率化戦略・経営基盤強化」を基本方針として掲げ、魅力ある新製品の開発や新規事業の拡大、製造原価の低減などに取り組んでまいりました。

販売面では、エンタテインメント業界やアミューズメント業界などの主力顧客への営業活動に注力し、キャラクターコンテンツを使用したイベント物販品の受注拡大に努めるとともに、販売促進の効果測定等による付加価値サービスを活かし、セールスプロモーション案件の受注強化を図りました。また、オリジナル雑貨製品では主力製品であるエコバッグやタンブラー・ボトルが堅調に推移したほか、アイテムの拡充を図ったモバイル製品の販売強化に努めました。新規事業分野では、VAP E（電子タバコ）事業において、平成28年5月14日に第三号店となる「有楽町駅銀座口店」を東京都千代田区に出店し、店舗販売のさらなる強化に努めました。また、トラベル雑貨製品はOEM製品の販売が好調に推移し、モレスキン事業につきましても、展示会出展などにより新規顧客の拡大に努めました。

生産面では、中国からその他のアジア諸国への生産地移動による製造原価の低減対象を、顧客の要望に応じたカスタムメイド雑貨製品に拡げ、取り扱いアイテムの拡大を推進しております。トラベル雑貨製品については、当社グループ内でのシナジーを活かし仕入調達力の強化を図るとともに、新製品の開発に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、エコバッグ等の主力製品の販売やVAP E事業をはじめとする新規事業が好調に推移したことなどにより90億1百万円（前年同期比12億54百万円、16.2%の増加）、営業利益は、売上高の伸長による売上総利益の拡大、販売費及び一般管理費の計画的支出などにより8億3百万円（前年同期比2億98百万円、59.3%の増加）となり、経常利益は8億円（前年同期比3億2百万円、60.8%の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億34百万円（前年同期比2億26百万円、73.3%の増加）となりました。

販売経路別の販売実績につきましては、VAP E事業の店舗販売・WEB販売、自社製品のWEB販売等、EC事業及び小売り事業の拡大に鑑み、当年第1四半期連結累計期間より販売経路別の分類を下記の通り変更しております。なお、製品分類別については変更ありません。

< 販売経路別販売実績 >

販売経路	売上高		増減	
	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
エンドユーザー企業向け事業	4,094	4,552	458	11.2
卸売事業者向け事業	3,653	4,258	605	16.6
EC事業及び小売り事業	—	191	191	—
合計	7,747	9,001	1,254	16.2

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 EC事業及び小売り事業につきましては、当年第1四半期連結累計期間より分類を開始したため、前年同期対比の増減はありません。

< 製品分類別販売実績 >

製品分類	売上高		増減	
	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
一般雑貨製品	3,912	4,604	691	17.7
エコ雑貨製品	3,130	3,577	447	14.3
ヘルスケア&ビューティ雑貨製品	591	662	71	12.2
その他	113	157	43	38.8
合計	7,747	9,001	1,254	16.2

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 一般雑貨製品には、前連結会計年度末に連結子会社とした、株式会社ゴーウェルによるトラベル雑貨製品の売上高2億51百万円が含まれております。

3 その他は、設計・デザインの受託業務、印刷業務等、雑貨製品に該当しないものになります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ4億1百万円増加し、49億96百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加1億57百万円、現金及び預金の増加1億3百万円、製品の増加83百万円によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億2百万円増加し、8億円となりました。主な要因は、投資その他の資産の増加48百万円、有形固定資産の増加40百万円、無形固定資産の増加14百万円によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億9百万円増加し、17億55百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の増加1億52百万円、賞与引当金の増加1億2百万円、短期借入金金の減少1億85百万円によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ4百万円増加し、6億66百万円となりました。主な要因は、長期借入金金の減少17百万円、退職給付に係る負債の増加21百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ3億90百万円増加し、33億74百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加4億18百万円、従業員持株E S O P信託による自己株式の処分に伴う減少(純資産の増加項目)18百万円、為替換算調整勘定の減少30百万円、繰延ヘッジ損益の減少16百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月期通期連結業績予想に関する事項につきましては、平成28年5月26日に「通期業績予想の修正に関するお知らせ」により公表した数値から変更はありません。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却の方法)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法へ変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,198,314	1,302,004
受取手形及び売掛金	1,478,159	1,636,122
製品	1,553,329	1,636,552
その他	374,738	430,132
貸倒引当金	△8,788	△7,900
流動資産合計	4,595,752	4,996,911
固定資産		
有形固定資産	154,067	194,223
無形固定資産		
その他	81,917	96,497
無形固定資産合計	81,917	96,497
投資その他の資産		
その他	471,247	518,246
貸倒引当金	△9,733	△8,576
投資その他の資産合計	461,513	509,670
固定資産合計	697,498	800,391
資産合計	5,293,250	5,797,302

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	569,380	558,353
短期借入金	300,000	115,000
1年内返済予定の長期借入金	296,496	304,779
未払法人税等	88,414	241,399
賞与引当金	58,544	161,259
株主優待引当金	7,410	6,585
その他	326,136	368,165
流動負債合計	1,646,383	1,755,542
固定負債		
長期借入金	407,714	390,552
退職給付に係る負債	201,944	223,321
資産除去債務	31,883	32,238
その他	20,796	20,697
固定負債合計	662,338	666,808
負債合計	2,308,721	2,422,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	312,380	312,493
資本剰余金	538,592	538,705
利益剰余金	2,221,547	2,639,580
自己株式	△150,608	△132,146
株主資本合計	2,921,911	3,358,631
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△9,157	△25,451
為替換算調整勘定	78,652	48,050
退職給付に係る調整累計額	△6,878	△6,529
その他の包括利益累計額合計	62,617	16,069
新株予約権	—	250
純資産合計	2,984,529	3,374,951
負債純資産合計	5,293,250	5,797,302

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)
売上高	7,747,312	9,001,855
売上原価	5,302,466	6,119,871
売上総利益	2,444,845	2,881,983
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	744,050	764,688
賞与引当金繰入額	96,742	137,575
退職給付費用	18,843	24,763
貸倒引当金繰入額	891	2,841
株主優待引当金繰入額	7,148	6,585
その他	1,072,818	1,142,345
販売費及び一般管理費合計	1,940,494	2,078,799
営業利益	504,351	803,184
営業外収益		
受取利息	304	236
受取保証料	5,199	5,199
その他	1,045	1,900
営業外収益合計	6,549	7,335
営業外費用		
支払利息	4,286	4,207
為替差損	6,840	5,316
コミットメントフィー	525	—
その他	1,461	579
営業外費用合計	13,113	10,103
経常利益	497,787	800,417
特別利益		
固定資産売却益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
固定資産除却損	1	1,393
特別損失合計	1	1,393
税金等調整前四半期純利益	497,785	799,026
法人税、住民税及び事業税	213,048	313,204
法人税等調整額	△23,863	△48,854
法人税等合計	189,185	264,349
四半期純利益	308,600	534,676
親会社株主に帰属する四半期純利益	308,600	534,676

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)
四半期純利益	308,600	534,676
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	18,307	△16,294
為替換算調整勘定	52,815	△30,602
退職給付に係る調整額	△503	348
その他の包括利益合計	70,618	△46,547
四半期包括利益	379,219	488,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	379,219	488,128
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。